



2023年3月16日

各位

会社名 株式会社アールプランナー  
代表者 名 代表取締役社長 梢 政 樹  
(コード番号:2983 東証グロース・名証メイン)  
問合せ先 取締役 C F O 舟 橋 和  
(TEL. 052-957-5860)

## 2023年1月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2022年9月8日に公表した2023年1月期通期連結業績予想と実績値との差異について、下記の通りお知らせいたします。

### 1. 連結業績予想と実績値との差異について

2023年1月期通期連結業績予想と実績値との差異 (2022年2月1日～2023年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	33,500	1,100	913	608	113.45
実績値 (B)	31,244	692	506	327	61.06
増減額 (B - A)	△2,255	△407	△406	△280	
増減率 (%)	△6.7	△37.1	△44.6	△46.2	
(ご参考) 前期実績 (2022年1月期)	28,057	1,519	1,383	960	182.05

(注) 当社は、2022年2月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2022年1月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

### 2. 連結業績予想と実績との差異の理由

2022年1月期は、新型コロナウイルス感染症の影響による新しい生活様式への変化を受けた戸建住宅需要等により、好況な市場環境の中で戸建販売棟数が大きく伸び、大幅な増収増益となりました。

2023年1月期は、売上高におきましては過去最高を更新したものの、コロナ禍による戸建住宅需要が一服した状況下で業績が推移いたしました。主力の戸建住宅事業の中でも売上高を大きく占める分譲住宅につきましては、当初計画立案時の好況な市場環境で、事業セグメント別の売上高は22,670百万円を見込んでおりましたが、当初の想定よりも不動産市況に落ち着きがみられる環境の中で、前年同期比では増収となったものの実績は20,865百万円となり、前回発表予想を下回る要因となりました。

利益面におきましては、事業拡大の先行投資となる住宅展示場等関連費用や人件費等の販売費及び一般管理費は概ね計画通りに推移いたしました。ウクライナ情勢の長期化や円安による原材料価格及び資源価格の高騰の影響が長引く中で、売上高が未達となり、売上総利益が減少し、各段階利益において前回発表を下回ることとなりました。

当初計画から戸建住宅等の販売価格改定を見込んでおり、第4四半期にかけて売上高の伸長や営業利益の改善の傾向がみられたことから、第3四半期累計期間においては通期業績予想を据え置いておりましたが、外的要因であるウクライナ情勢の長期化、世界的インフレの圧力や円安等による原材料価格の上昇の影響が続く中、物価高による消費マインドの低下なども重なり、売上高、また営業利益以下各段階利益を引き下げる要因となりました。

なお、配当につきましては、前回公表値から変更はございません。

以上